

2019年（平成31年）1月16日

## 輸送動向について（平成30年12月分）

### 1. 輸送概況

今月は、東北線、函館線、道南いさりび鉄道線等での輸送障害の影響および山陽線本復旧工事の影響により、高速貨171本が運休となった（前年は、高速貨154本、専貨2本が運休）。

コンテナは、紙・パルプが国内需要減少に伴う販売不振により、特に東北・中国地区からの発送が落ち込んだほか、農産品・青果物は北海道地区での夏季の長雨・日照不足により在庫薄となっている玉葱、生野菜、馬鈴薯等が減送、エコ関連物資は建設発生土輸送の減により低調に推移した。そのほか食料工業品、化学工業品、化学薬品といったすべての品目において、前年を下回った。コンテナ全体では前年比95.0%となった。

車扱は、石油が暖冬に伴って灯油を中心に需要が減少したため低調に推移したほか、セメントが定期修繕時期の変更および在庫調整により減送となった。車扱全体では前年比94.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比94.9%となった。

### 2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,883	1,981	95.0%	14,897	16,942	87.9%
車 扱	945	999	94.6%	6,427	6,511	98.7%
合 計	2,827	2,980	94.9%	21,323	23,453	90.9%

### 3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	184	197	-13	93.1%
	化学工業品	161	176	-15	91.7%
	化学薬品	126	130	-4	97.0%
	食料工業品	333	349	-16	95.4%
	紙・パルプ	245	262	-17	93.3%
	他工業品	129	132	-3	97.7%
	積合せ貨物	259	263	-4	98.6%
	自動車部品	68	70	-2	97.2%
	家電・情報機器	36	37	-1	97.4%
	エコ関連物資	39	44	-5	89.9%
	その他	301	320	-19	94.1%
	コンテナ計	1,883	1,981	-98	95.0%
車 扱	石油	686	720	-34	95.3%
	セメント・石灰石	111	122	-11	90.8%
	車 両	89	93	-4	95.9%
	その他	58	63	-5	92.0%
	車 扱 計	945	999	-54	94.6%
合 計	合 計	2,827	2,980	-153	94.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）